



ミスミグループ通信

vol.65

2025年4月1日～2026年3月31日

株式会社 ミスミグループ本社

証券コード：9962

株式会社 ミスミグループ本社

〒102-8583 東京都千代田区九段南1丁目6番5号 九段会館テラス
TEL:03-6777-7501 FAX:03-5211-7502
URL: <https://www.misumi.co.jp/>



社長就任のご挨拶

ものづくり力・IT力・AIを掛け合わせ、プラットフォームとサプライチェーンを進化させることで、持続的成長と株主価値の向上に取り組んでまいります

本年4月1日付で社長に就任した清水新でございます。平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼を申し上げます。

当社がこれまで培ってきたものづくり産業への対応力とITへの対応力を、AIの活用により更に進化させ、お客さまのプロセスイノベーションを支援するプラットフォームを目指してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます。



代表取締役社長

清水 新 (しみず あらた)

1972年6月1日生まれ 山梨県出身

略歴

1997年3月 成蹊大学工学部(現 理工学部)卒業
 1997年4月 現アクセンチュア(株)入社
 2005年9月 同 エグゼクティブパートナー
 2015年7月 同 戦略コンサルティング本部 統括本部長 執行役員
 2017年3月 シーオス(株) 代表取締役副社長 COO
 2017年6月 (株)インターワークス (現 (株)コンフィデンス・インターワークス) 社外取締役

2017年9月 (株)トラスト・テック(現 (株)オープンアップグループ) 社外取締役
 2020年6月 当社 社外取締役
 2021年6月 (株)ビー・アンド・イー・ディレクションズ 取締役
 2024年6月 当社 専務取締役・CIO
 2025年10月 同 取締役 兼 専務執行役員 CIO
 2026年4月 同 代表取締役社長(現任)
 同 (株)ミスミ 代表取締役社長(現任)

2025年度の業績と今後の取り組み

3つの成長戦略を軸に積極投資を行い、事業ドメインのさらなる拡大を目指します

2025年度における世界経済は、アメリカの関税政策やそれに伴う各国への影響、地政学リスクの高まりなど先行き不透明な状況が継続しました。これにより主要顧客産業である自動車関連の稼働も膠着状態が続きました。一方、中国・アジアを中心に、通信関連や半導体関連向けの需要は堅調に推移しました。

こうした環境において、当社は、メーカー事業と流通事業を併せ持つユニークな業態を活かし、その事業基盤をグローバルで進化させ、顧客の確実短納期ニーズに応えることで、世界の製造業を中心とした自動化関連産業に貢献しています。これまで当社が築いてきたIT、生産、物流の強固な事業基盤やグローバル拠点網を活用しながら、新商品・新サービスを含む新事業開発を継続し、顧客の需要を的確に捉えることに努めましたが、一部地域においてはアメリカの関税政策による需要低迷の影響を受けました。この結果、2025年度の連結売上高は4,413億8千3百万円(前年同期比9.8%増)となり、過去最高を更新しました。

セグメント別に見ると、FA事業は、日本の設備投資需要の低調が継続した一方、中国の通信関連需要の攻略をはじめ、meviy、エコノミーシリーズ、D-JIT等の独自施策による需要獲得により海外地域が総じて堅調に推移したことから、売上高は1,604億9千8百万円

(前年同期比18.2%増)となりました。金型部品事業は、中国・アジアの堅調な成長が、需要低迷で弱含むその他地域をカバーし、売上高は883億6千8百万円(前年同期比2.2%増)となりました。VONA事業は、全地域で総じて堅調に推移し、売上高は1,925億1千6百万円(前年同期比7.1%増)となりました。

利益面につきましては、独自施策による数量増等が、持続的成長に向けた施策に関わる支出および7月からFictiv Inc.の業績を連結範囲に含めた影響を吸収し、営業利益は476億1千3百万円(前年同期比2.4%増)、経常利益は490億9千5百万円(前年同期比1.6%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は米国における連結納税制度の導入に伴い、繰越欠損金に係る繰延税金資産を計上したこと等により法人税等調整額が減少したため、404億5千7百万円(前年同期比10.7%増)となりました。

2026年度の連結業績については、地政学リスクをはじめとした不透明な状況が続く一方、データセンターや半導体等の成長産業における自動化需要はグローバルで持続的に高まっていくものと想定し、売上高は4,915億円、営業利益は550億円、親会社株主に帰属する当期純利益は374億円と予想しております。

Top Message

トップメッセージ

なお、中東情勢緊迫化による原材料価格や輸送費上昇の可能性はあるものの、見通し不確定として、連結業績予想への数値影響は織り込んでおりません。今後事業環境の変化等により、本業績予想を修正すべき事象が生じた際には速やかにお知らせいたします。

2026年度の主な取り組みについてご紹介いたします。

当社は今後、グローバル展開、デジタルモデルシフト、成長産業への参入という3つの成長戦略に積極投資を行い、事業ドメインの拡大を狙ってまいります。

グローバル展開については、アメリカ、アジア、中国を

注力地域・戦略国と定め、集中投資を実行してまいります。アメリカでは、MISUMI USAとFictivのシナジー創出により、市場浸透を加速し、アジアでは、今後2年間でインド・ベトナムを韓国およびタイに続く売上100億円超の現地法人に育ててまいります。また、中国では、「現地顧客×現地商品開発×現地マネジメント」の域内体制でさらなる市場浸透を図ります。

デジタルモデルシフトについては、当社は「DX銘柄2026グランプリ」に選定されるなど、これまでデジタル時代の先導的役割を果たしてまいりました。お客様の「設計」「購買」「生産」の各現場での不便を、AIを活

用したサービスで解決し、お客さまのプロセスイノベーションを支援してまいります。今後も、さらなるサービスの進化を目指し、AI関連投資を継続します。

成長産業への参入については、AIがもたらす新たな産業領域への展開を積極的に推進します。データセンター市場向け製造装置で求められる自動ステージの増

産のための設備投資として2026年度に20億円の投資を予定しているほか、アグリテック分野ではOishii Farm社との業務資本提携を通じた共同研究に取り組めます。また、ロボティクス・ヒューマノイド分野では、関連企業との提携や業務資本提携を検討・推進してまいります。

株主還元

当社グループは、社員の挑戦を起点として、顧客であるものづくり産業の持続的成長へ貢献し、社会の持続的発展を支える、成長連鎖経営を志向しております。また、地域・事業・新商品・新サービス開発等への積極的な成長投資と株主還元のバランスを重視し、資本効率の向上によるエクイティスプレッドの拡大に注力してまいりました。

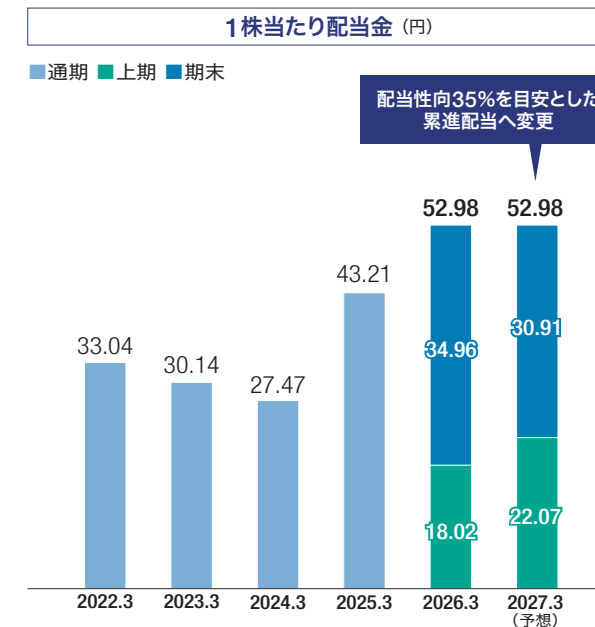
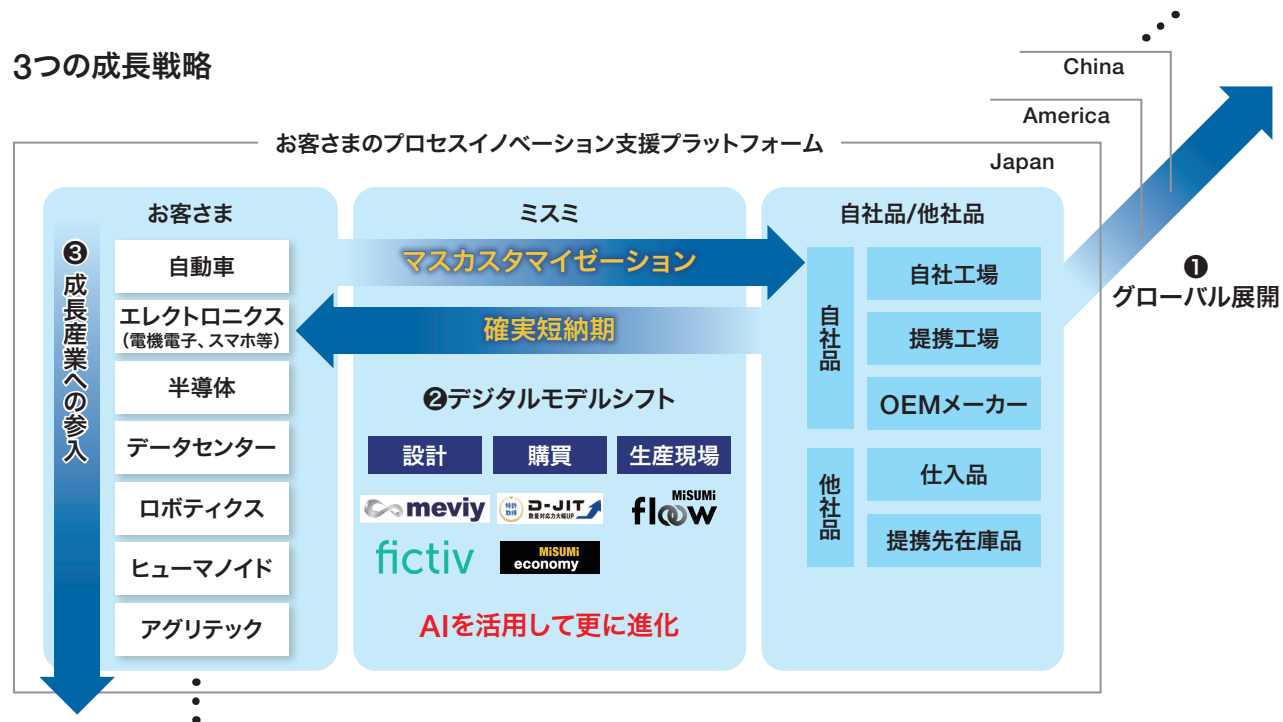
今後のキャッシュ・アロケーションについては、レバレッジ活用を含めた手元資金と将来営業キャッシュ・フローを、M&Aを含む成長投資へ優先的に配分してまいります。グローバル展開、デジタルモデルシフト、成長産業への参入、AIを中心とした既存事業基盤の強化等、今後3年を目途に最大1,500億円の投資を計画しております。

株主還元につきましては、さらなる充実を図るため、2026年度より配当性向35%を目安とした累進配当を導入することを決定いたしました。これにより、成長投資を優先しつつも、株主の皆さまに対して、より安定的な還元を実施してまいります。

また、自己株式取得については、成長投資実施後に資

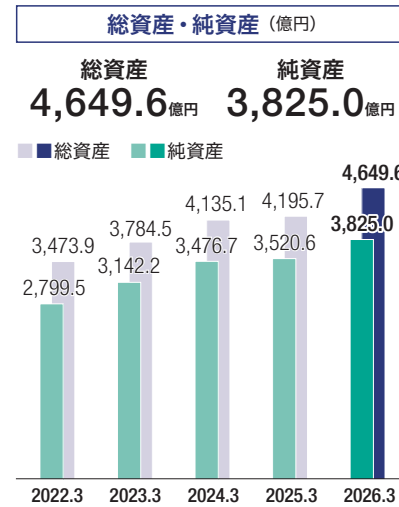
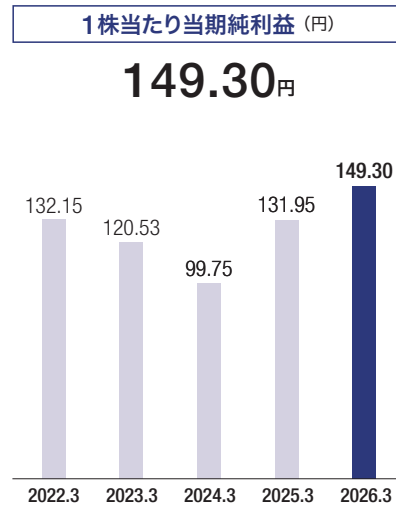
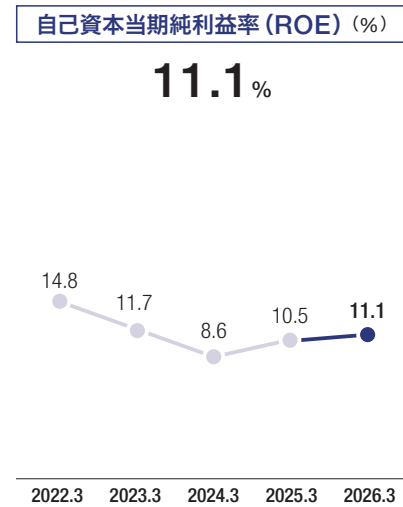
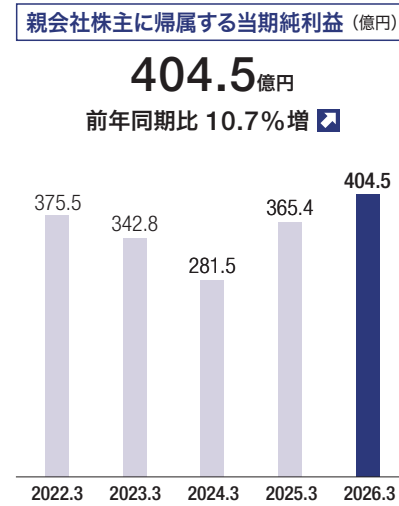
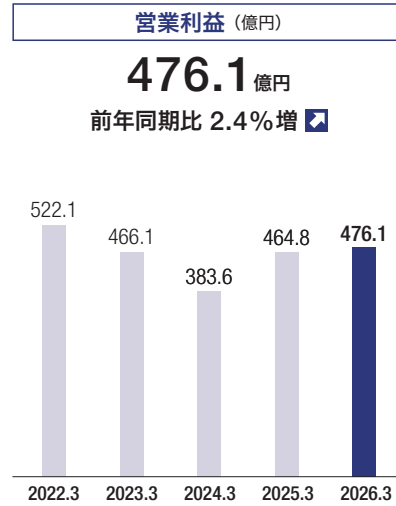
金余剰が生じる場合は、株価水準なども鑑み機動的に実施してまいります。なお、2026年度は自己株式300億円の取得を予定しております。

3つの成長戦略



Financial Highlights

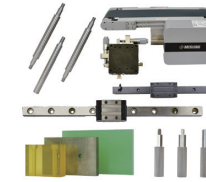
連結財務ハイライト



詳細な財務情報は当社ホームページ「株主・投資家情報」へ <https://www.misumi.co.jp/ir/>

セグメント概況

FA事業



製造装置、生産自動機などに利用する精密機械部品の開発・生産・販売をしています。FA事業には、デジタル施策の「meviy」や「エコミーシリーズ」、さらに2025年7月から連結対象としたFictiv Inc.も含まれ、これらにより事業全体の成長が加速しています。

金型部品事業

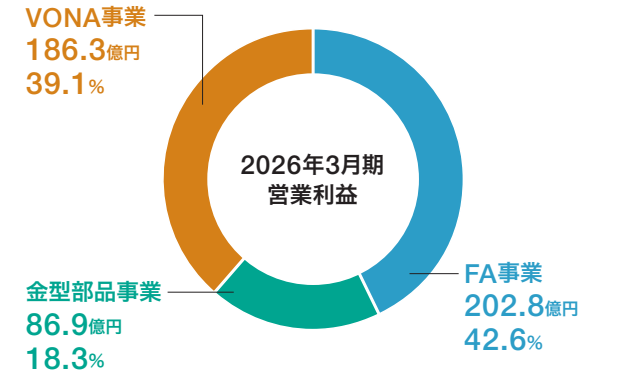
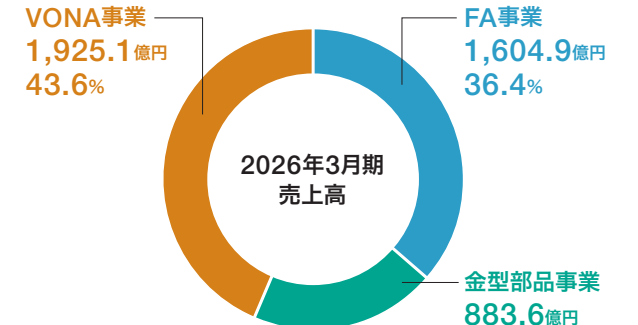


主に自動車、電子・電機機器分野に、金属塑性加工用プレス金型やプラスチック射出成形用金型に組み込む金型標準部品、精密金型部品の開発・生産・販売をしています。

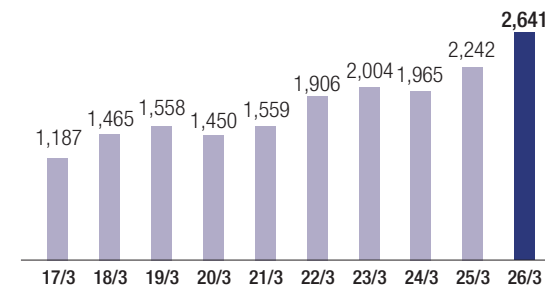
VONA事業



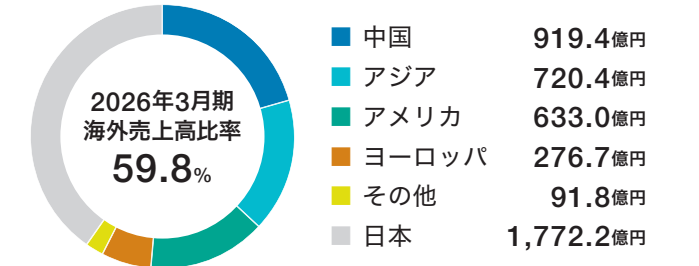
他社商品も含めた自動化関連間接材から消耗品まで幅広い商品群を販売する流通事業です。ミスミブランドの他、グローバル3,000社以上のメーカーが参画しています。



海外売上高 (億円)



地域ごとの状況



DX銘柄グランプリに初選定

2026年4月10日「デジタルトランスフォーメーション銘柄 (DX銘柄) 2026」に選定されました。さらに同銘柄選定企業の中からデジタル時代を先導する企業として「DXグランプリ2026」にも選定されました。昨年のDX銘柄初選定に続き、今回初のグランプリ獲得となります。



DXグランプリ2026 Digital Transformation

DX銘柄とは？




デジタル技術を前提としてビジネスモデル等を抜本的に変革し、新たな成長・競争力強化につなげていくデジタルトランスフォーメーション (DX) に取り組む企業を表彰。DX銘柄2026には当社を含む30社が選定。特に優れたDXの取り組みを行った企業をDXグランプリ2026として、当社を含む3社が選定されました。

今回のDX銘柄選定審査では、生成AIの活用に関して一層評価する設問が加わりました。

経済産業省発表

https://www.meti.go.jp/policy/it_policy/investment/keiei_meigara/dx_meigara.html

評価ポイント (抜粋)

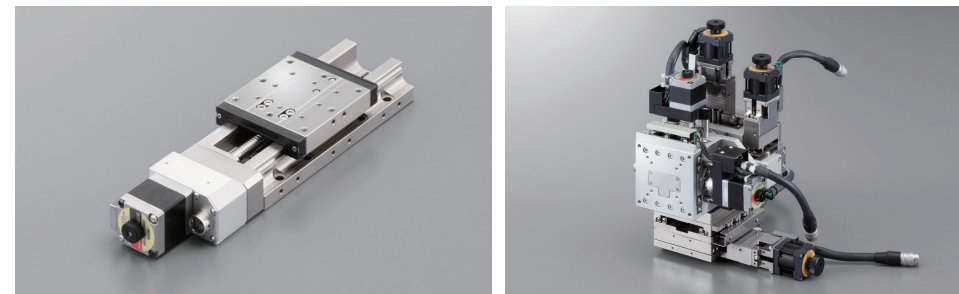
-  プロセスイノベーションを実現し続けてきた"本家本元"として、従来事業の深化に加え、事業ドメインの拡大、量産間接材調達、3DCADデータのAI認識と無人製造等により「無限大のものづくり」を実現している。
-  成長戦略「デジタルモデルシフト」・DXビジョンを明確に掲げ、経営トップの関与の下、全社的にデジタル施策を展開。デジタル人材の定義から確保・育成まで一貫して実践している。
-  少量多品種の確実短納期という強みを軸に、量産過程を内包するDXへ進化。Fictiv Inc.買収により標準品・特注品を一元発注できるプラットフォームを構築し、サプライヤーとの在庫連携で社会最適な協創モデルを実現している。

当社の取り組みがわかる
「統合報告書2025」
当社ホームページにて公開



データセンター向け自動ステージ増産

2026年1月29日、生成AIの世界的普及に伴い急拡大するデータセンター市場向け製造装置で求められる、自動ステージの増産を決定しました。中国・ベトナムの製造拠点に**計約20億円を投資し供給能力を倍増**します。



当社で生産する主な自動ステージ

旺盛なAIデータセンター需要に応える確実短納期体制を強化

生成AIは、大量のデータ分析を経るため、データ処理を行うデータセンターの需要が世界的に拡大しています。**世界のデータセンター市場は2024年に4,161億ドルと見込まれ、2029年には6,241億ドルまで拡大**すると予測されています*。このうち約半分がネットワークインフラに関連する機器やサービスです。

このうち、光トランシーバーは、AI登場以前と比べて計算結果を高速でやりとりする通信量が膨大になっており、サーバー1台当たりの搭載数が飛躍的に増加しています。光トランシーバーの製造装置には、**自動ステージが組み込まれており、その注文数も急速に増加**しています。ミスミでは、お客さまの注文に確実短納期で対応し、今後も拡大が見込まれるデータセンター市場においてさらなる供給体制の強化を図ります。

ミスミはものづくり産業のAI特需にも対応し、グローバルで時間価値を提供することで、生産性の向上に貢献してまいります。

※ 総務省「令和7年版 情報通信白書」

<https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r07/html/nd218100.html>

Corporate Data

会社情報

会社概要 (2026年3月31日現在)

商号	株式会社ミスミグループ本社 (英文名: MISUMI Group Inc.)
設立	1963年2月23日
本社	東京都千代田区九段南1丁目6番5号九段会館テラス
資本金	147億2千7百万円
事業内容	FA事業・金型部品事業・VONA事業、各事業を中心とした企業グループの経営戦略・立案、管理・運営など
従業員数	11,304名(2026年3月31日現在のミスミグループ連結)
URL	https://www.misumi.co.jp/



ミスミグループトップマネジメント (2026年6月18日現在)

取締役

代表取締役社長	清水 新	取締役・取締役会議長	大野 龍隆		
取締役	金谷 知樹	取締役	清水 重貴	取締役	徐 少淳
取締役(筆頭社外)	中野 庸一	取締役(社外)	栖関 智晴	取締役(社外)	矢野 圭子
				取締役(社外)	Figen Ulgen

管掌役員

社長	清水 新	専務執行役員	金谷 知樹	専務執行役員	清水 重貴
専務執行役員	荒川 亨	専務執行役員 IDビジネス・ハブ社長 兼 Americas ビジネス・ハブ会長 兼 Fictiv Inc. Chairman	吉田 光伸		

執行役員

常務執行役員 中国リージョン・ハブ代表役員 兼 アジアリージョン・ハブ代表役員	徐 少淳	常務執行役員 CFO ファイナンスプラットフォーム・ハブ代表役員	高波 徹	常務執行役員 DLビジネス・ハブ社長	大洞 龍児
常務執行役員 CIO Digital Operation Excellence プラットフォーム・ハブ代表役員	力田 章	常務執行役員 CHRO 兼 人材・法務プラットフォーム・ハブ代表役員	加藤 司	本社執行役員 生産プラットフォーム・ハブ代表役員	荘司 秀佳
本社執行役員 Factory-MRO ビジネス・ハブ社長	馬場 隆	本社執行役員 デジタルサービスモデル開発・ハブ代表役員	川上 浩一	本社執行役員 流通サービスビジネス・ハブ社長 兼 Gatewayモデル開発・ハブ代表役員	鷲見 昌丈
本社執行役員 OSTビジネス・ハブ社長	渡邊 宣公	本社執行役員 Rapid Manufacturingモデル開発・ハブ代表役員	木戸 雄介	本社執行役員 OSTビジネス・ハブ執行役員常務	齊藤 三延
本社執行役員 欧州リージョン・ハブ代表役員	村田 規明	本社執行役員 メカトロニクスビジネスグループ 管掌役員補佐	山本 智博	Fictiv Inc. CEO 兼 ミスミグループ本社 本社執行役員 Americas ビジネス・ハブ社長	David Evans
Fictiv Inc. CXO 兼 ミスミグループ本社 本社執行役員 AIモデル開発・ハブ代表役員 兼 Americas ビジネス・ハブCXO	Nathan Evans	本社執行役員 新領域開発ビジネス・ハブ社長	李 鎮旭	本社執行役員 金型ビジネス・ハブ社長	宮本 雄介
本社執行役員 メカトロニクスビジネス・ハブ社長	浦 仁史				

監査役

監査役	男澤 一郎	創業者			
監査役(社外)	青野 奈々子	監査役(社外)	市川 静代	特別顧問・創業者	田口 弘
				特別顧問・第2期創業者	三枝 匡

Shareholders Memo

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで	
定時株主総会	6月	
基準日	定時株主総会・期末配当金	3月31日
	中間配当金	9月30日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社	
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社	
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部	東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (通話料無料、平日9:00 -17:00)
同送付先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部	
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場	
公告の方法	電子公告 ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。	
公告掲載URL	https://www.misumi.co.jp/ir/	

書面交付請求について ~インターネットのご利用が困難な株主さまへ~

株主総会資料は原則ウェブサイトでの提供となります。
そのため、従来通り株主総会資料を書面で受領ご希望の株主さまは、お手続きが必要となります。

- ▶ 書面交付請求の受付期限は、株主総会の基準日までにお申し出が必要です。
- ▶ お手続き方法については、お取引のある証券会社または株主名簿管理人にお申し出ください。

注意事項

業績予想に関する留意事項

この資料に掲載されている通期の見通しおよび将来に関する記述部分につきましては、現時点で入手可能な情報をもとに、ミスミグループが合理的であると判断した一定の前提に基づいておりますが、実際の業績は、様々な要素により、これら事業予想とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

住所変更、買取請求その他各種お手続きについて

原則、株主さまの口座のある証券会社にお問い合わせください。なお、特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。